

眞野 恵美さん

JICA 海外協力隊 2018 年度 3 次隊

派遣国：ザンビア 職種：PC インストラクター

2022 年 1 月 30 日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

停電下 パソコンの授業

ザンビアから帰国して 2 年がたとうとしている。当初の任期は 2 年間の予定だったが、新型コロナウイルスの影響で 2020 年の 3 月に緊急帰国し、そのまま任期を終えることとなった。現在は岡山で結婚をし、山脇酸素という会社で、呼吸器疾患や睡眠時無呼吸症候群 (SAS) に悩む患者さまと向き合う日々を過ごしている。

ザンビアではパソコンインストラクターとして、中高一貫校

の学生に基礎的なパソコンの操作、エクセルやワードの使い方を教えた。任地である南部州モンゼ市は、1 年間計画停電が続いたため、実際にパソコンを使ったのは活動の半分にも満たない。

そのためポスターで画面を説明したり、他国の先輩隊員が作成した教材を使いアイコンを「かるた形式」で覚えられるような授業を行ったりした。パソコンの授業以外にも、現地食材を使って日本食を生徒と作ったり、ディベート大会の引率を引き受けたりして生徒や同僚との交流を深めた。

国際協力機構 (JICA) のボランティア事業の目的の一つに、帰国後のボランティア経験の社会還元がある。最近、患者さまの紹介で、留学生を受け入れている団体とつながることができた。私のザンビアでの生活や活動は、同僚や生徒のおかげで成り立っていた。外国人であった私に積極的に関わろうとしてくれた人たちのおかげで、授業以外の活動も行えた。その恩を別の誰かに送りたい。岡山で仕事を続けて生活基盤がしっかりとできたら、いつかホストファミリーとして世界の留学生を受け入れることが私たち家族の今の目標だ。



かるたを使い、パソコンのアイコンを覚える授業を行った